



12月 園だより

令和5年12月1日
第三ひもんや保育園園長

日に日に空気が冷たく感じる今日この頃です。子どもたちは、冷たい風が吹いても外遊びが大好きです。リレーや鬼ごっこ、ドッチボール、相撲など子ども同士でルールを決めたりしながら元気いっぱい遊んでいます。また歩行が安定してきた乳児クラスも園庭や散歩先で小山を登ったり、三輪車に乗ったり、かくれんぼ等好きな遊びを楽しんでいます。毎日、全身をよく動かしているので体力もついてきて頼もしく感じます。今月の裏面は、乳児クラスの散歩の様子をお伝えしています。また事務所通信の乳児編を掲示しますので、是非ご覧ください。先日、4歳児クラスが白菜ちぎりを行っていました。「はくさいのいい匂いがする」と言いながら保育室に入ると庭を眺めていた子が「いい匂い」という言葉と匂いを感じたのか友達の傍へやってきて匂いを確かめるような仕草をしました。その姿に友達も「匂いしたのかな」と嬉しそうです。その後も白菜をちぎりながら会話は続きます。「あれ、これみどりきいろ（黄緑）だね」「こんなに大きい食べられるかな」「赤ちゃんは食べられないよね」と色の違いや小さい子の事を思い浮かべ小さくちぎっています。すると今度は「これ（このまま）食べられるのかな」とつぶやいたので「食べられるよ。これでキムチ作ったことあるよ」と声を掛けました。それを聞いた友達が「お肉巻いて食べたら美味しいよね」「今日の給食はそれにして～」と会話が広がっていきました。食育活動の一場面ですが、この姿の中に子どもたちの気づきや五感で感じる経験、経験したことを伝えあう喜び、人を思いやる気持ち、言葉の広がりなど、知的好奇心や表現力、コミュニケーション力へ繋がる体験を重ねている事を改めて実感しました。今後も日常の何気ない関わりを見逃さず子どもの育ちを保護者の皆様、職員と伝えあうことを大切にしていきたいと思えます。今年も残りわずかとなりました。日頃より保護者の皆様のご理解ご協力に感謝いたします。また来年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

〈12月の予定〉

大きくなったね会	(3、4、5歳児)
しめ縄作り	(5歳児)
身体計測	(全園児)
避難訓練	(全園児)

〈1月の予定〉

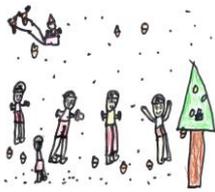
新年お祝い会	(全園児)
身体計測	(全園児)
避難訓練	(全園児)



健康教育



先日、5歳児でメラトニンの話をしました。メラトニンは、起床から約15時間後の真っ暗の環境で分泌し、眠っている間に体が元気になる手助けをしてくれます。朝ご飯を食べる事や日中体を動かす事がメラトニンを増やすことにも繋がり、元気に過ごすためにはメラトニンをたくさん出すことが大切と伝えました。子どもたちから「朝、きちんと起きることが大切なんだね」「自分の見えないところでいろいろ働いているんだね」など感想が聞かれました。これまで生活リズムの話は繰り返ししてきましたが「早寝・早起き・朝ご飯を食べる」が大切な理由と体の仕組みが子どもたちの中で繋がったように思います。幼児クラスでは、体の変調を言葉で大人に伝えられることを最終目標にして、健康教育をしています。楽しくわかりやすい教材を用意し「からだってすごい」と興味を持つ事から始め、体を守るためにどうしたらよいかを一緒に考えながら、自分の体を大切にしたいという気持ちに繋がるように伝えていきたいと思えます。



乳児クラスの散歩の様子



0歳児（ありんこ組）

「たくさん身体を動かして」

広場に着くと、芝生の上をたくさん四つ這いしたり歩いたりしています。土の上とは違う芝生の感触や凸凹も楽しんでいて、保育士に「まてまて～」と追いかけることが嬉しくて逃げたり、保育士の所まで走ってきて高い高いをしてもらい笑い声をあげています。また保育士がリズム遊びのトンボの歌を歌うと、ワクワクした表情を浮かべて、嬉しそうに走り出します。小走りをしたり、歌に合わせてその場でくるくると回ったり、足踏みをして走っているつもりで動くなどそれぞれが楽しく身体を動かしています。最後に「ピッ」と言うとき止まったり、片足を少し浮かせようと頑張っている姿がとても可愛らしいです。終わると子ども同士で顔を見合わせ拍手をして“もう1回”と何回も繰り返しています。保育士や友達と楽しく遊ぶ中で、様々な動きを経験していき身体作りに繋げていきたいと思います。

碑文谷公園

ポニーを見たり、広場で探索やたくさん体を動かして遊んでいます。



1歳児（ちょうちょ組）

「あるこう、さがそう」

「お散歩に行こう」と声を掛けると「やったー」「お馬いこー」と嬉しそうな声が聞こえてきます。歩行が安定し、友達や保育士と手を繋ぎ、目的地まで歩けるようになってきました。子どもたちの視界に入る全てのものは魅力的です。電車や大型トラックが通るたびに歓声をあげて喜んだり、とある民家の大きな石のオブジェは恐竜の卵、照明は小さい卵に見えるようで、その家が近づいてくると「ガオーの卵あるかなあ」と友達や保育士と話しながら見るのを楽しみにしています。何かを見つけるたびに「〇〇あった」「これなーに」と話したり聞いたりしてなかなか目的地にたどり着かないこともありますが、子どもたちの発見や興味を大切に、共感しながら伝え合う楽しさを感じたり、探索活動を通し様々なものに触れたりしながら興味を広げていきます。

2歳児（てんとうむし組）

「もういいかい まーだだよ」

広場に着くと「〇〇ちゃん隠れるね」「見つけてね」と保育士を誘い、かくれんぼが始まります。行き慣れた場所なので、隠れやすい場所をよく知っていて、見つからないように草むらの中にしゃがんだり、植込みの中に隠れ始めます。「1、2、3～もういいかい」と保育士が言うと「まーだだよ」「もういいよ」という子どもたちの声が返ってきました。「どこかな」と保育士が探し始めると、植込みの中の隠れ家のようなスペースに4、5人が肩を寄せ合いながらクスクス笑っていました。保育士が「〇〇ちゃんみーつけた」と声をかけると「見つかったちゃった」と笑い「今度は先生が隠れて」と、かくれんぼを繰り返し楽しんでいました。保育士や友達と遊ぶ中で、ドキドキやワクワクする気持ちに共感しながら、楽しい気持ちをたくさん感じられるようにしていきます。